

原子力防災普及啓発（避難先・避難経路確認訓練）

IV 避難先・避難経路確認訓練

今年度から広域住民避難計画で計画している避難経路、避難退域時検査会場、避難先施設等の住民による確認訓練を実施。

平成30年度の避難先・避難経路確認訓練は、UPZ圏内の米子市、境港市で各4回、計8回開催予定。

【平成28年度】

参加地区	日時	行程等(予定)
米子市和田地区	平成29年 3月29日(水)	和田公民館(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場及び避難先である倉吉交流プラザ等を確認。
境港市境地区米川町	平成29年 3月26日(日)	市民体育館(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場及び避難先である面影地区公民館等を確認。



原子力防災普及啓発

V CATVによる防災情報の提供

(1) 目的等

原子力防災対策や日ごろの備えなど、県民(特にUPZ)に知っていただきたい内容を紹介するほか、原子力防災訓練の実施などの情報を中海テレビで放送し、普及啓発を行う。

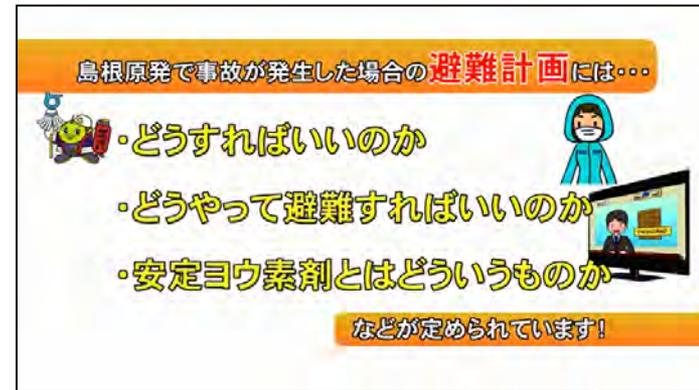
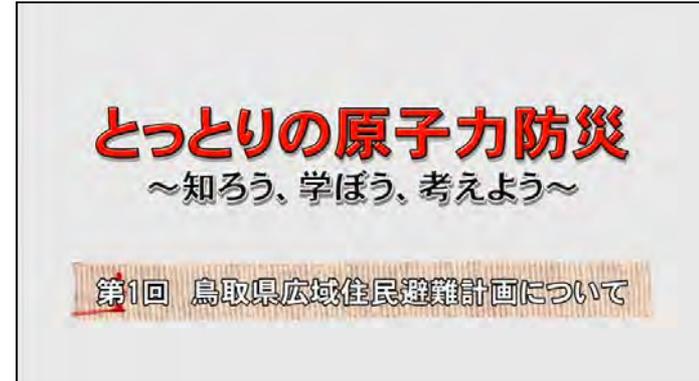
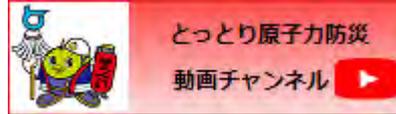
(2) 情報番組の内容

- ア 番組名 とっどりの原子力防災
 ～知ろう、学ぼう、考えよう～
- イ 放送回数 週2回以上。放送期間中計56回以上
- ウ 番組の長さ 2分

(3) 放送終了後の取扱い

放送された番組は、放送翌月に県の「動画チャンネル」で閲覧可能

【平成29年度放送内容】



年月	原子力防災情報	今月のお知らせ	
平成29年	9月	広域住民避難計画	1号機の廃止措置
	10月	住民避難について	原子力防災訓練
	11月	情報伝達	緊急速報(エリア)メール
	12月	屋内退避の効果	2号機の審査状況等
平成30年	1月	避難退域時検査	原子力防災アプリ
	2月	安定ヨウ素剤	避難計画の修正(パブコメ)
	3月	原子力災害医療	2号機の審査状況等



原子力防災普及啓発（広報紙）

VI 原子力防災ハンドブック、とっとりの原子力防災2018

原子力災害に備えて、原子力防災や放射線の基本的な知識の普及啓発のため、広報紙を作成（昨年度作成したハンドブック等の改訂版）。

原子力防災のハンドブック、チラシ（小・中学生用）の改訂版を作成。また、原子力防災対策、安全対策等に関する取組状況をまとめた冊子「とっとりの原子力防災2018」を作成。

【実施内容】 県内全戸への配付（市報への折込） 等



データは原子力安全対策ホームページに掲載予定。

<http://www.genshiryoku.pref.tottori.jp/>

※2018を印刷中

9 平成30年度の取組み

1 国と連携し対応していく事項

- (1) 避難行動要支援者の避難方法の実効性向上
- (2) 避難車両の調達、搬送方法、物資の供給体制
- (3) 緊急時モニタリングの具体的な実施内容・方法等
- (4) 安定ヨウ素剤(ゼリー剤も含む)のUPZ希望者への事前配付
- (5) 避難退域時検査実施体制・内容、他地域との広域連携
- (6) 境港市役所等行政機能の移転及び業務継続

2 鳥取県としての検討事項

- (1) 避難行動要支援者の実態把握に基づく避難体制の充実
 - ・計画上、必要とされる車両等、避難体制の実効性向上
 - ・県が県内のバス事業者等から直接調達するもの以外の必要車両を国に依頼する場合の具体的な要請手順の明確化
- (2) 原子力災害医療派遣チームの体制整備(活動に必要な資機材等の整備)
- (3) 円滑な避難を行うために必要な取組の実施
 - ・避難オペレーション支援システムと情報提供システム(アプリ等)の連携構築
 - ・避難退域時検査体制の充実(資機材の標準化と一括管理・輸送体制の実証、避難退域時検査会場の使用に関する所在自治体との協定締結等)
 - ・住民及び車両の検査及び除染体制の整備(車両用ゲートモニタ、大型車両除染用設備及び資機材)
 - ・避難退域時検査会場の通信環境(Wi-Fi)及び施設改良(ユニバーサルデザイン化等)の実施
 - ・避難先として指定した避難所の施設状況や周辺生活情報の整備
 - ・小型無人飛行機(ドローン)による情報収集訓練の実施

平成 29 年度島根県原子力防災訓練の結果について

1. 訓練日程

平成 29 年 11 月 17 日（金）、19 日（日）

2. 参加機関

138 機関、約 2,980 名

3. 主な訓練内容、成果・課題

(1) 新たに策定した計画、協定等に基づく通信連絡訓練

岡山県、広島県及び県内避難先と避難者受入ガイドライン(案)に基づく手順及び 5 県バス協会等と協定に基づくバス派遣要請に係る手順を確認する通信連絡訓練を行い、「避難者受入れガイドライン」の策定に向けた知見を得られるとともに、バス運転従事者に対する原子力災害に関する研修等の必要性を確認できた。

(2) 避難退域時検査訓練

実施計画に基づく体制の実効性や新規整備資機材の有用性（検査時間の短縮等）を確認ができ、また動員者への事前研修の成果として円滑な運営を行うことができた。訓練の中では、強風等への事前対策の必要性を確認できた。

(3) 緊急速報(エリア)メール等による住民広報

約 8 割の住民等に緊急速報（エリア）メールで避難情報を伝達できたことのほか、受信できなかった住民等に対する情報伝達手段をアンケートによって確認できた。一部のメールであった配信時間の遅れ等が生じないよう平時より配信操作に習熟する必要がある。

平成 29 年度 島根県原子力防災訓練における各訓練項目

11 月 17 日 (金)

8:30	初動対応訓練 〔県庁、市役所ほか〕 8:30 発電所から通報 8:35 関係機関へ連絡	学校等避難訓練 〔4 市内〕 県立学校へ指示 等	緊急時モニタリング訓練
9:00			
10:00	新 バス調達訓練(通信連絡) 新 避難受入れに係る通信連絡訓練 国、県、市 TV 会議 (災対本部会議)	要支援者避難訓練 〔松江市〕 東部医療福祉センター	
11:00	5 km 圏内避難訓練 〔松江市〕 避難指示等 住民一時集結所集合、避難 自衛隊による要支援者の移送		
12:00			

11 月 19 日 (日)

8:00 ~ 8:30	避難情報伝達訓練 〔6 市内全域〕 緊急速報 (エリア) メール (8 時半) 等により避難情報を送信			
9:00	住民避難訓練等			
10:00	〔松江市〕 3 地区	〔出雲市〕 6 地区	〔安来市〕 1 地区	〔雲南市〕 1 地区
11:00	東部高等技術校【避難退域時検査訓練】		模擬検査 見学	東部高等 技術校
12:00	原子力防災学習会			
13:00	益田市、邑南町、津和野町 【避難経由所・避難所開設】 吉賀町は、津和野町会場に参加			
14:00	要支援者避難訓練 〔松江市内〕 特別養護老人ホーム 明翔苑 【放射線防護設備稼働】			
15:00				